

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	男女共同参画課
職	課長
氏名	杉村 佳津子

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
男女が、社会の対等な構成員として、互いにその生き方を尊重し、あらゆる分野において共に参画し、共に責任を分かち合うことができる男女共同参画社会の実現を目指す。	



組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か				
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか				
<p>①男女共同参画社会づくりに向けた意識の改革</p> <p>②方針の立案及び決定過程への女性の参画の拡大</p> <p>③女性の人権が推進・擁護される社会の形成</p>					
(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する				
目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
「男女共同参画社会」という用語の周知度	64.5 %	H27 年度	100.0 %	H32 年度	いしかわ男女共同参画プラン2011改定版
県審議会等における女性委員の割合	32.8 %	H27 年度	50.0 %	H32 年度	〃
「女性相談支援センター」の周知度	26.0 %	H27 年度	100.0 %	H32 年度	〃



28年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
①男女共同参画意識の啓発	若い世代や企業、家庭など、対象や年代に応じた手法で啓発活動を行うほか、地域に根ざした啓発活動を推進するため、男女共同参画推進員向けのスキルアップ研修を実施するなど、あらゆる人々に対する男女共同参画の理解促進に取り組む。
②女性の社会参画の促進	県政会議の開催や県政学習バスの運行、起業相談窓口の開設などを通じて、女性自らが意識と能力を高め、社会のあらゆる分野で主体的に活躍できるよう支援する。
③女性に対する暴力の根絶	「いしかわパープルリボンキャンペーン」等の啓発活動や若年層に対する予防啓発を行うほか、被害女性等への支援や安心してDV被害の相談ができる体制の充実に向けた研修の実施などに取り組み、配偶者等からの暴力のない社会の実現を目指す。